

学外研修報告書

-平成 29 年度中国・四国地区国立大学法人等技術職員研修への参加-

工作部門 ガラス・木材加工技術班 横山 真也

1. はじめに

中国・四国地区における技術職員の方向性や動向の確認及び技術職員として必要な知識・技術の習得・向上を図るために、上記研修に参加し講演会聴講・専門的知識の講義・実習を受講した。

2. 期間・場所

開催期間 平成 29 年 8 月 30 日～平成 29 年 9 月 1 日（3 日間）

開催場所 山口大学常盤キャンパス（初日・3 日目：講義棟，2 日目：ものづくり創生センター）

3. 参加者等

受講者 技術職員：39 名

4. 研修内容

・全体講義(8/30, 9/1)

「国立大学法人山口大学の現状、そしてこれから」、「山口大学技術職員組織の全学化に向けた取り組み」、「宇宙利用のすすめ!」、「国際宇宙ステーション・「きぼう」日本実験棟初の燃焼実験「Group Combustion」」、「マイクロコンピュータを用いた空気圧アクチュエータの制御」、「技術系職員として知っておきたい知的財産の基礎知識」

・分野別実習(8/31)

「真空技術の基礎知識の習得」

5. まとめと感想

全体講義では、大学の現状とこれからの技術職員に求められるもの、技術職員組織としての改革案等についての講義を伺った。大学を運営していくための財源を確保するための取り組みや大学運営に対する技術職員の役割、そして技術職員組織の体系についての変革構想など具体的な内容を聴講することができた。

また、宇宙利用に関して、衛星を利用したりリモートセンシングや無重力状態での燃焼実験について興味深い話を聴講することができた。

全体講義の最後に聴講した知財に関する講義では、技術職員として知っておくべき知財の基礎知識や心構え等を学ぶことができた。

分野別実習では、最初に、真空技術の基礎知識として、真空の効果と真空がどのような部分で利用されているか、真空システムの基本構成に関する講義と実演、実際に真空装置を動作して真空ポンプの基本操作や取り扱いの注意点の学習、簡易スパッタ/エッチング装置を使用しプラズマ生成、スパッタリングによる薄膜形成、リフトオフによるパターンニング、エッチングによるパターンニングの実習を行う内容であった。用意していただいたテキストも図が多く、視覚的に真空の状態や効果についてわかりやすくなっており、基礎知識の習得に関しては大変良い内容となっていた。職場で真空装置を使用するときに、学習した内容をしっかり活かしていきたい。